

日本共産党埼玉県議団ほっとNEWS

NO. 30

2011年12月 8日 日本共産党埼玉県議団

新「埼玉県5か年計画」案の審議に、 少数会派・無所属の参加を

共産党県議団と社民党がともに申し入れ

日本共産党埼玉県議団は社会民主党の佐藤征治郎県議とともに、新「埼玉県5か年計画」案を審議する特別委員会に、少数会派や無所属を参加させるべきだとして12月8日、申し入れを行いました。

この日の議会運営委員会において、県議会への新「埼玉県5か年計画」案の提出が表明され、特別委員会を設置してこの審議を行うことが確認されました。前回同様の特別委員会定数では、共産党や社民党、無所属は委員として参加できません。

あり方研究会の案を審議の基準とするというが・・・

この新「埼玉県5か年計画」案は、2012年度から2016年度の県政全般にかかわる総合的な行政計画です。この「埼玉県5か年計画」案の審議に当たっては多様な県民の意見が反映される



左から柳下県議、鈴木聖二議長、荒川岩雄副議長、佐藤征治郎県議、村岡県議

べきです。加えて議会運営委員会においては、議会あり方研究会がまとめた「県民要望を実現するための5か年計画重点政策」を審議の基準として活用することが確認されましたが、あり方研究会には少数会派・無所属が参加していません。そこで、特別委員会の設置にあたっては、定数を大幅に増員し、無所属・少数会派を含む全ての会派の参加の下、民主的に議論を尽くすことを強く申し入れました。

申し入れを受けて、鈴木聖二埼玉県議会議長は、「みなさんの申し入れを極力生かすよう努力します」と答えました。